

秋 齒 技

発行
No.75
2025年2月1日

一般社団法人
秋 田 県
歯 科 技 工 士 会
広 報 部

年頭のごあいさつ

会長 今野

悟



新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、穏やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

また、平素は技工士会の会務運営に對しまして、ご理解・ご協力をいただきまして御礼申し上げます。昨年、三齒会合同研修会を、8月に開催できました。ちょうど6月の保険点数改定で口腔内スキャナーを用いたのインレーが収載され、タイムリーな話題でできたことはとても有意義だったと思います。さらに今回の改定では、大幅に点数が上がったものや、低い点数では

あります。新たに技工士の立ち合いによる歯科技工士連携加算も収載され、材料費や光熱費、食料費等物価高騰のこの時期、我々にとつて少し明るい材料となりました。日技連盟で自民党員と歯科技工士議員連盟を作つて、各方面に声をかけて勝ち取つたものです。自営者の皆さん、技工士の当然の権利として技工料に転嫁してください！（まだまだ世間並みの水準には至っておりませんが）今年度から日本歯科医師会の会長が高橋英登会長に変わり、初めて日技の社員総会に顔を出し挨拶してくださつた中で、我々技工士を理解・応援してくださいました。また、別の会合では「技工士のために何でもしようじゃないか」という発言もされています。技工の経験もあり技工

の大変さも十分に知つている高橋会長に大いに期待するものです。昨年新しい材料が数々開発され、デジタル化がどんどん進み、自分の年齢になると追いついていくのがやつとです。このようにデジタル化が進んだ背景の一つとして、技工士不足・技工士の高齢化が挙げられます。秋田県での就業人数は、令和4年12月31日現在369人になりました。年齢階級別にみると、25歳未満が7人、25〜29歳が3人、30〜34歳が8人と、34歳未満が18人、對して50歳以上が229人で秋田県の技工士の6割以上を占めています。歯科技工士だけでなく、様々な業界で人材不足問題が取りざたされていますが、特に若い技工士が減少している原因として、経済問題・認知度の低さ・仕事のやりがい・職場の環境等が挙げられます。技工料金や賃金の値上げ、さらにチエアースライドでの歯科技工や歯科訪問診療での歯科医師への同行、介護施設での義歯調整等ができるよう、技工士法の改正を切に望むものです。今年、昭和百年に当たる年です。昭和30年に歯科技工法（現在歯科技工士法）が制定されて70年。秋田県歯科技工士会も今年で70周年になります。



新年会の集合写真

しておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。今年の干支は乙巳。結果よりも成長することに重きをおく年だそうです。必ずしも年内に目標が達成できなくとも成長して次に間違いなく繋がる年にしたいと思ひます。最後になりますが、昨年の東北ブロック周年秋田大会の開催にあたり、各支部よりたくさん協力金をご寄付いただきました。おかげさまで盛會裏に終了することができました。この場をお借りして改めて御礼申し上げますと共に会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして新年のご挨拶いたします。

第65回東北ブロック会議秋田周年大会開催

日程 令和6年10月12日(土)・13日(日)

会場 ANAクラウンプラザホテル秋田、西仙北緑地運動広場(野球)

主催 東北ブロック歯科技工士協議会

担当 一般社団法人秋田県歯科技工士会

令和6年10月12日(土)は東北ブロック会議、学術担当者会議、東北3県野球大会、表彰式及び懇親会が行われた。
10月13日(日)は学術講演会が開催された。

東北ブロック会議

日時 令和6年10月12日(土) 午後1時～5時

会場 ANAクラウンプラザホテル秋田

出席者 今野 悟・酒樹 栄・佐藤 仁・佐々木順也

内容 :



技工士不足問題に対する取り組みや対策、対応等について、また、ベテラン世代が多い中での中堅・若手世代の交流について話し合われた。

学術担当者会議

(午後2時～4時)

出席者 青野 耕士・齋藤 健司

内容 : 各県で学術会や研修会の参加者が低調であるため、事前アンケートを基に、各県の担当者が抱える問題点や共同開催等について話し合われた。



協議の内容は、本会議で報告された。

表彰式及び懇親会

(午後6時～9時)

担当県会長・ブロック長・日技副会長・北海道東北歯科技工学会代表者の挨拶の後、表彰式が行われた。本県の表彰者は、【日本歯科技工士会会長感謝状】細田武彦氏、【東北ブロック長表彰】藤盛正伸氏、【野球功労賞】高橋和文氏であった。

その後、余興のなまはげ太鼓が披露され、参加者63名はその迫力

第65回 東北ブロック歯科技工士協議会秋田周年大会表彰式・懇親会



に圧倒されつつも交流を深めた。
※野球については別ページで報告
しています。

(佐藤 仁)



東北ブロック歯科技工士協議会 学術講演会(歯科技工学会北海道東北支部共催)

日 時：令和6年10月13日(日)

午前10時～午後3時

午前と午後の2部構成

会 場：ANAクラウンホテル秋

田

テーマ：

【午前】「今こそ知りたい！デジ

タル技工とアナログ技工
の守備範囲、適応範囲」

高瀬直先生

【午後】「大野の台形法 受け継

いだ原理原則と発展」平

栗扶美先生

参加者：35名(秋田県23名、岩手

県7名、青森県1名、宮

城県1名、東京都1名、

技工学会員2名、講師1

名)

内 容：

午前は、デジタル技工とアナロ
グ技工の比較、それぞれの技術の
メリット・デメリット、今後の技
工への活かし方について論文に基
づいた独自の視点で解説しました。

午後は、大野健夫歯科技工士の
台形法の原理原則を基に、有歯顎
の平均値を無歯顎に適用し、口腔
内を可視化する手法をワークショ
ップ形式で体験しました。

両講演とも、受講者にと
って明日から活かせるピン
トが満載で、非常に有意義
な研修会となりました。特
に午後のワークショップで
は、受講者自身が手を動か
しながら台形法を体験する
ことで、より深い理
解とこれからの臨床
への応用が期待され
ると思われました。

今後、より多くの
会員が参加できるよ
うな魅力的な研修会
を企画し、会員全体
のスキルアップに貢
献していきたいと思
っています。
・より幅広い分野の

講師を招き、多様なテーマの研
修会を開催する。
・ハイブリット形式の研修会を増
やす。
・会員の意見を積極的に取り入れ、
より満足度の高い研修会を企画
する。
今回の講演会を開催するにあた
り色々とお手伝いいただいた理事
の方々に感謝申し上げます。

(青野 耕士)



生涯研修

令和6年5月19日、秋田県青少年交流センターユースパルにて、遊亀裕一先生をお招きして「生体によさしい修復物」というテーマで生涯研修を開催いたしました。

午前中は咬合調整の少ないクラウン基礎編と、応用編。午後は咬合調整の少ないクラウンのデモと歯周の健康を意識したパーシヤルデンチャー、と非常に充実した内容の研修会でした。

特に午後のデモのレクチャー時は、厳しく指摘・指導いただき、日々の技工をあらためて見つめ直すいいきっかけになりました。

研修後、遊亀先生に感想をお尋ねすると、「皆様にとっても真剣に聴いていただいたので大変嬉しかったです」との事でした。

今回の研修会は、令和5年秋田豪雨災害のために、



延期されていたものですが、無事終える事ができまして安堵しております。

今後もこのような研修会が開催出来るように学術担当として精一杯努めてまいりたいと思います。

(齋藤 健司)

二水会

令和6年7月21日、二水会主催の講演会が開催されました。日技の生涯研修にも認定され、会員11名が受講しました。(他に歯科医師22名、未入会技工士7名)

講師は村岡英明先生。演題は、「装着体験から義歯を語る」〜デジタルによる義歯製作の展望、どこまで可能か。そして、顎堤吸収が進んだ下顎総義歯にどのように対処するか。でした。

村岡先生の、健康な自分の歯を抜いてまでも義歯を入れて、患者の気持ちに寄り添う姿勢には感服させられました。

今デジタルに移行しつつありますが、総義歯のデジタルでの作業の内、可動粘膜のスクランに関するはまだまだ、という感じがしました。が、コピーデンチャーを作る時には、デジタルはとても良いと思えました。

義歯の調整など、ポイントポイントの細かい調整の所が、大変参考になり勉強になりました。

三歯会合同セミナー

令和6年8月25日、秋田県歯科医師会館、3F大会議室にて、「知っておきたい最新の診療室のデジタル化」をテーマに、秋田県初の三歯会合同セミナーを開催いたしました。

講師に神奈川歯科大学 歯科診療支援学講座 口腔デジタルサイエンス学分野 教授 星憲幸先生をお招きし、参加者は、歯科医師25名、歯科技工士13名、歯科衛生士17名の合計55名でした。

会場にはメーカーの口腔内スキャナーの展示もあり、実際に触れて体験もできました。

参加された方々から「大変勉強になりました。」など大盛況でした。一方で「出来れば午前だけでなく、午後もゆっくりお話を聞かせていただきたかった」という声もありました。

今回の合同セミナーは、技工士会の提案で開催されましたが、歯科医師会、歯科衛生士会の方々からこれを期に、これからも続けていければ、とお話しをいただきました。

(佐藤 仁)

大森山動物園 歯科技工フェア

令和6年6月2日、大森山動物園にて、来園されたお子様の手型を印象し石膏模型にしてプレゼントするイベントを5年ぶりに実施いたしました。

他には、歯科医師や歯科衛生士による口腔衛生指導、歯科技工物やエビテーゼの展示など。ご協力頂いた皆様、誠にありがとうございました。

動物園の担当者がかわり、打ち合わせ段階から多少困惑している



様子でしたが、ふたを開けてみると、順番待ちの列ができ、例年を上回るハイペースで手型とりを行う事となりました。

本会会員の専門技術を活かし、子どもたちの成長の記録となる模型が沢山でき、動物園担当者も手応えを感じたようで、来年へ向け期待する感想もありました。

今回の活動を通して、我々歯科技工士が歯科医師と協力し、患者様の笑顔に貢献していることを多くの方に知っていただく機会となりました。

当日は、午後から大雨のため午前のみの開催となりましたが、例年は終日開催しております。

都合のつく時間帯だけのご参加でも構いませんので、皆さんの素晴らしい技術を地域社会貢献活動にお貸しください。

(佐藤 仁美)

献血ボランティアの報告

令和6年2月24日に大曲のイオンにて毎年恒例となっている献血ボランティアに参加させていただきました。

この活動には、11年〜12年位参加していますが、ここ数年献血をする方が多くて驚いています。

昨年も大体午前中に赤十字の目的の1日55人を達成することが出来ました。

今年も2月16日(日)に行います。会場は、大曲のイオンモールです。皆様ご多忙のことと存じますが、是非ご参加ください。

(佐々木 修)



会員動向

◆新入会者

・齊藤 葵さん【中央支部】
勤務先 今野歯科技工所
令和6年7月入会

◆出産

・田口 勇樹さん【県南支部】
長女 麗さん
(平成30年7月4日) 誕生
次女 美海さん
(令和6年8月7日) 誕生

※麗さんについて掲載が遅くなりました。申し訳ございません。

◆お悔やみ

・高橋 和雄さん
【中央支部】令和6年2月死去

※会員・会員の妻が出産された場合、日技からもお祝い金があります。

(一子につき2万円)
申請は事務局まで！
お忘れなく!!

第65回東北ブロック歯科技工士協議会周年大会 野球大会回顧録…やるつもりじゃなかった、けどやってみたら

六年前から延び延びになっていた野球大会。なぜ延期になったのか、いまひとつ思い出せない。台風だったのか、コロナの影響だったのか。前回の大会がどこで開催されたのかさえ忘れていた。

そんな状態で迎えた今年度のはじまり。今大会をどうするか、野球部会議が開かれた。集まったのは七人ほど。(野球は九人必要ですが…)ブランクが長く、私も和文さんもピッチャーなんてとても無理。その場の総意で、「もう野球大会は断念しよう」という結論に達した…はずだった。

やらないはずが、やることに?

しかし、時が経つにつれ、こんな噂が耳に入ってくる。

「他県はやる気らしい」「人数が足りなければ合同チームでもやる

らしい」

そんな話を聞いているうちに、「こりや、やらなければならぬのか?」という雰囲気。そして、なんとか人数も集まり、なんとなく迎えた大会前日。

相馬くん「せめてキャッチボールだけでもしておきましょうよ」と言われ、賞品の買い出しついでに、和文さんと三人で六年ぶりにキャッチボール。そりや体は動かない。

その後、LINEグループも立ち上がり、不毛なやりとりが始まる。

「ボールはある?」↓「以前のA球ならある」

「バットは?」↓「昔買ったビヨンドがあるけど、劣化してるかも…」

結局、キャプテンが最新のボールとバットを調達してきてくれた。さすが。

さらに、使用予定だった協和球

場が工事延長で使えないことが判明し、急遽「西仙北緑地運動広場」に変更との連絡。

「そこ、ラインカーあるのかな?」「二十年前はあったような…」

「いや、もう祈ろう!」勢いで不安を吹き飛ばし、前準備は完了した…

当日…二度とない奇跡のメンバー

当日は天候にも恵まれ、少し早めに現地に着けると、すでに佐々木監督、和文さん、田口くんがラインカーで準備を進めてくれていた。どうやら祈った甲斐があったようだ。

続々と「お久しぶりです」のメンバーが集まり、他県の選手たちとも再会。懐かしい顔ぶれで、開会式が始まる。審判さんから「怪我には気をつけて」と念押しされ、試合開始。



第一試合・岩手戦

今野会長の始球式で、第一試合の岩手戦がスタート。

佐々木監督のファイブプレー、裕樹キャプテンのフェンス直撃の長打、ドレッドヘアがまるで助っ人外国人のような渡部さん、謎の負傷退場をする翼くん、盛大に転倒する寺島くん、フルで初キャッチャーを務めた田口くん。そして、安定感抜群の中学生プレーヤーの裕樹さんの息子さんも大活躍！
結果は、打っては十二得点、投げては菅野さんが完封。見事に岩手を撃破。

決勝：永遠のライバル 青森戦

続く決勝は永遠のライバル・青森戦。肩の痛みで久々の参加となった相馬くんも駆けつけてくれた。投球はかつてのダブルエース、和さんに託されたが、残念ながら安定せず。

しかし、ここで思わぬ助っ人が登場。負傷の翼くんの代役としてきてくれた、翼くんの息子さんが登板。中学生の安定した投球で試

合を作ってくれた。

二試合とも中学生ルーキーに救われる結果となった。とはいえ、二戦目は打線にも疲れが見え、惜しくも大敗を喫する。

ラストマッチ、そして

「ラストマッチ」と銘打った今回の大会だったが、優勝は叶わず。やるつもりではなかった大会、振り返るともう少し準備しておけば良かったと悔しさも残る。それでも、久々の野球は楽しく、懇親会で飲む酒は格別だった。



(戸嶋 賢)

「またやりましょう！」という声も上がっていたので、もしかすると次の機会もあるのかな。そのときは、キャッチボールもままならなかった私のイップス改善にお付き合いください。

最後に、真坂さん、素晴らしい動画を作ってくださり、よい思い出となりました。ありがとうございました。



支 部 だ よ り



【中央支部】

明けましておめでとうございます。
令和6年中央支部の活動報告です。

まず始めに10月12・13日に行われた東北ブロック周年大会、野球大会が秋田県で開催されたため支部から県へ寄付金を贈呈させていただきました。報告します。

6月2日、大森山動物園にて技工フェアがあり、中央支部会員8名と他支部協力のもと無事終える事ができました。

8月3日、川反ミートキッチンで納涼会を行いました。毎年第一土曜日に行なっていることもあり竿燈と重なってしまいました。5名の参加でたわいもない話で盛り上がりました。

12月7日、ダイニング集で忘年会を行いました。こちらは10名の参加でしたが初参加の方も来られ新鮮な飲み会となりました。昨年同様に牛玄亭でと思いましたが予約が取れず、場所選定に苦慮しま

したが、なかなかの好評でよかったかなと思えました。

毎年ながらイベントに集まっていただけの方々が少人数になってきています。参加、ご協力お願いします。

それでは今年もよろしくお願います。
(高橋 和文)

【県南支部】

昨年からは県南支部長をやらせてもらう事になりました。

コミュニケーション能力が欠落している自分には何かと荷が重たいことばかりですが、頑張りたいと思います。

昨年の支部の活動では、ネーム入れ事業もコロナ以降中止となり、旅行も企画しましたが参加人数不足により中止になりました。

役員会も特に開く必要のない状況でしたが、対面で会うことも重要だと思い、8月と11月に親睦会として飲み会を開催しました。

今年も新年会にも研修会を設け

たりして支部を盛り上げていくように頑張りたいと思います。

(佐々木 修)

【県北支部】

明けましておめでとうございます。
本年もよろしくお願います。

県北支部は少ない会員で元気に活動しています。
年に数回の懇親会では、会員外の方にもお声がけし、情報交換等有意義な時間となっています。

昨年の東北ブロック大会においては、東北ブロック長表彰として支部長藤盛正伸さんが表彰され嬉しいニュースでした。
また、学術担当理事として青野耕土さんが様々な情報提供や積極的な活動を展開してくれています。頼もしい限りです。

今年はどうなるのか…。
淡々としっかりと過ごしたいものです。
皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

(福士 省治)

【由利本荘支部】

明けましておめでとうございます。

この度、渡辺支部長の後を引き継ぎ今年度から支部長を、合わせて県技理事を務めることになりました。よろしくお願います。

令和5年に、近年の活動としては唯一のイベントとなりました「本荘由利支部設立20周年を祝う会」を無事に開催することが出来ました。コロナ禍により延期となっていたものです。それまでは新年会や納涼会などを行っていましたが、現状、支部単体での活動が難しい状況にあります。大きなことは出来ませんが、会員同士の繋がりは大切にしていきたいと思っています。

理事としての活動も増えてきました。大森山動物園での技工フェア、東北ブロック秋田周年大会と大きなイベントにも参加し、その様子を記録として写真に収めることが出来ました。今後も会の活動を残せるよう頑張りたいと思います。
今年も本荘由利支部をよろしくお願います。

(真坂 嘉徳)

ペットボトルキャップ回収

今年度もペットボトルキャップ回収にご協力いただき、誠にありがとうございます！

皆様のご協力のおかげで、今回もたくさんペットボトルキャップが集まりました。集まったキャップは、リサイクルされ、世界の子どもたちへのワクチンへと繋がります。皆様の温かいご支援に心から感謝申し上げます。

(キャップ500個で約1kg、45Lのゴミ袋で約7kgになります)

● 回収結果
● 回収量：26.71kg



● ワクチンに換算：13人分
今後も、引き続きペットボトルキャップの回収活動を行っていきます。

皆様のご協力が、子どもたちの未来を明るく照らします。ご協力いただける場合は、お気軽にお問い合わせください。キャップ受け渡しの際に皆様の交流が深まっていただけたら幸いです。

(佐藤 仁美)

6年男の質問

今年年男の会員にアンケートに答えていただきました。

- ① 2024年を振り返ると
- ② 2025年はどんな年にしたいか
- ③ 今、一番夢中になっていることは
- ④ 日技・秋歯技に期待する事



泉にはよく行っていきます。ちなみに自分の中のオススめの温泉は、山内にある「共林荘」の元湯です。④日技に期待することは、新入会員が少なく現会員も高齢化が進んできているので会員をもっと増やせるようになったらいいと思います。

渡部 芳大さん
①怪我の多い年だった。最後の野球でも肉離れなど：
②健康第一
③マユリカのラジオ
⑤このまま

田口 勇樹さん
①次女の誕生と新しい技工機器の導入などバタバタして忙しい年でしたが、それなりに充実した1年でした。
②昨年の反省を胸に、と行きたいところですが、反省はすぐに忘れてしまうタイプなので、一日一日を大切に丁寧に過ごしたいと思えます。

佐々木 修さん



巳年です。今年で48歳の年男になりました。

① 昨年は県南支部長に任命された。② 昨年はほとんど行けませんでしたが、ゴルフにハマっております。③ 若い年代の技工士が少しでも増えて歯科技工業界が盛り上がり年下の人を見た事がないので、若い年齢の会員が増えて頂きたいです。

④ 特にありません。
③ 釣り
② 健康で公私充実
① 公私とも忙しかった。
加賀 雅義さん
デンタルラボテムコC&D

③ 昨年はほとんど行けませんでしたが、ゴルフにハマっております。今年2回目の70台を目指します。④ 若い年代の技工士が少しでも増えて歯科技工業界が盛り上がり年下の人を見た事がないので、若い年齢の会員が増えて頂きたいです。

ホームページ担当より

あけましておめでとうございませす。本年もよろしくお願ひします。

ホームページ担当の荒川です。昨年、HP作成用のノートパソコンが立ち上げ画面から進まず自力で起動出来なくなりました。HPのデータをバックアップすることもしていませんのでパソコン修理を業者に依頼しました。HP担当としてはデータが消える事が1番の大打撃です。

HPを1から作り直すと膨大な時間を要するため、貴重な時間を作り直すことに費やす気力もありません。業者からは修理不能という事でデータを外部保存機器に残してもらいましたが、HPのデータを見る事も出来ず未確認時間だけが過ぎていくばかり。

東北ブロック会議の最中、イベント参加を中止してパソコン復旧作業に追われておりました。

ここ最近ネットもスマホで見ないためパソコンに触れる事も少なくなりパソコンの選択肢がよ

く分かりませんでした。

現在のパソコンは壊れたパソコン購入時期の頃に比べ物にならないくらい進化しておりました。出来るだけ安く性能の良い物を求めるためいろいろ調べました。

今は保存や起動する媒体が年々安価になり。ハードディスクから大容量のストレージをもつSSDに変化しております。起動や操作性のスピードが体感で確認出来るくらい早くなりました。

故障したパソコンの代替え用として年賀状専用の古いパソコンを使おうかと、ハードディスクをSSDに置換してみると、見違えるほど良くなりました。

しかし、OSがWindows7のためセキュリティの関係でネットには繋ぐ事ができず。

結局新しいパソコンを購入。やっとの事で、HPのデータを掘り起こし元通りになりました。(復旧までの細かい作業内容は割愛します)

気付かされたことはOSの切り替え時期が早まり、アップデートするたびに買い替えサイクルが早

くなっているのが今のパソコン事情のようです。

歯科業界もアナログからデジタル化に業務範囲が移行していくにつれ、家電量販店では売っていないNVIDIAのGPUを数台搭載したハイスペックパソコンを導入する方も多数おられると思います。(GPUとか何のこっちゃと思うかもしれませんが、分からなくても操作には差し支えありません)

歯科の知識のほかに新しい材料や機器的な事に振り回される事も多くなりまだまだ自分のアップデートも怠らないようにしないといけないといけないなあ

と思い知らされた2024年でした。

HP作成も10年以上経ちました。今のHPはスマホでも手軽に回覧出来ます。

更新もSNSを更新する感覚で簡単に出来るシステムを導入しております。

我こそはという方がおられましたらお手伝いして下さるようお願い申し上げます。

(荒川大祐)

事務局より

- ☆勤務者から自営者になられた方
- ☆自営者の方で廃業された方
- ☆現住所、勤務先などが変更になった方
→必ず事務局にご連絡ください。

(一社) 秋田県歯科技工士会 事務局

〒019-2411 大仙市協和境字境26番地

電話・FAX 018-892-2447

E-mail : akisigi@ceres.ocn.ne.jp

ホームページ : <https://akisigi.fem.jp/>

(HP担当 : 県南支部 荒川大祐さん)

※ホームページに掲載してほしい情報がありましたら事務局へ連絡してください。

オンライン寺子屋 URL

<https://www.terakoya-rengo.com/akita>